

報道関係者各位  
プレスリリース

(発 表) 平成30年01月24日  
一般財団法人日本特許情報機構

## 知財A I 研究センターを設立します

一般財団法人日本特許情報機構 (Japio) (理事長: 松井英生) は、本年2月1日に「知財A I 研究センター(Japio 頂<sup>\*1</sup>)」(センター長: 小林明専務理事) を設立します。本センターの設立により、Japio は、特許・商標情報分野における人工知能技術の実用化に向けた研究・開発を加速します。

\*1) 知財部門のA I 研究・開発・活用の頂点を目指します。

### 1. 概要

近年、データの増加やハードウェア資源の発展とともに、深層学習をはじめとする人工知能技術が目覚ましく飛躍しております。

検索処理、画像処理、機械翻訳、チェス、将棋、囲碁に対して人工知能を適用したときの精度や実力は、各業界関係者のみならず、一般の方にとっても大きな衝撃をもって受け止められたと理解しております。

そして昨今、例えば医療や農業、人事などの分野に活用されるなど、人工知能の利用分野はその裾野を確実に広げております。

このような背景のもと、Japio は、特許情報の専門機関として特許・商標情報分野における検索・翻訳・分析等の人工知能の実用化に向けた研究・開発を加速します。

### 2. 知財A I 研究センターの体制

知財A I 研究センターでは、従前から培ってきたノウハウを活かし、下記の研究チームにより、人工知能の実用化に向けた研究を進めます。

- ・ 特許情報A I チーム

特許文献を対象とした先行技術調査にかかる検索や評価・分析におけるA I の研究・開発・活用

- ・ 商標A I チーム

商標(文字・図形)の検索や解析におけるA I の研究・開発・活用

- ・ 機械翻訳A I チーム

機械翻訳のさらなる高品質化におけるA I の研究・開発・活用